

く俳句く

炉を開く

木々朗

竜胆の彩濃く咲きぬ垣づたひ
妙高や進む程濃くもみずれり
終の色 柏黄葉の明るさに
炉開きや一期一会の軸を掛け
日の出なる銘菓もありし炉を開く

11月 霜月雑詠

細田 安治

晩秋に もうこれまでと 柿の葉たち
菊づくり 総決算の 菊花展
小春日に 銀杏黄ばみし 黄金色
山茶花や 紅白いずれ 生垣で
木枯らしに 負けるものかと 櫨の樹
見分け無理 間引き育成 蜜柑謎

